

日本バプテスト女性連合
加盟女性会（準ずる会）の皆さまへ

第 50 回書面総会報告・感謝とご意見欄への応答

主のみ名を賛美いたします。

新しい年が始まりました。この一年も皆さまのご健康とお働きが支えられますようお祈りします。

いつも女性連合を覚え、お祈りお支えをありがとうございます。

去る 2022 年 12 月 19 日、第 50 回書面総会(決議書開票)が、皆さまのご協力により成立し、総会議長、副議長のもと開票作業が行われ、すべての議案が承認されましたことを感謝し、まずご報告をいたします(277 加盟女性会のうち、191 通の決議書返送)。

今回、決議にともない議案へのご意見欄を設けましたが、多くの女性会の方がたからご意見をいただきました。心より感謝します。まだまだ集まりにくい状況の中で話し合い送ってくださったご意見を、女性連合への想いとして受け取り、大きな励ましをいただきました。今後検討する上で貴重なお声として参考にさせていただきます。お伝えしていました通り、いただいたご意見を開票結果と共に公表いたします（固有名詞は除きました）。

また決議後ではありますが、説明が不足している部分について、昨年 8 月の第 2 回実行委員会で協議されてきたことも含めてお伝えさせていただきたいと思います。

※世界バプテスト祈禱週間献金の「調査・育成費」に「全国小羊会キャンプ」開催費用を加えることについて

小羊会活動は、日本を含む「世界」とそこに生きるすべての命をいつくしみ、神さまの愛と祝福を分かち合う人となるように育て導くことが目的となっています。全国小羊会キャンプでは「わたしたちの世界伝道」とテーマを掲げ、さまざまなプログラムでの出会いの中で、「世界」で働く働き人への芽が豊かに育まれることを祈りつつ続けられてきました。この働きの重要性を感じます。その芽がさらに「青少年」(ミッションスタディツアー)、「青年」(アジアフィールド伝道)へと繋がれ育み導かれていくよう、全国の方がたの祈りの事柄としていきたいと願います(連盟のミッションスタディツアー [国外])については、これまでも世界バプテスト祈禱週間献金から連盟の国外伝道の働きのためにおささげした国外伝道費より支出されてきました)。

「全国小羊会キャンプ・リーダー研修会」は、第 7 回(1995 年)より連盟宣教部との共催となり、人財の派遣、そして助成金により毎年開催となりました(それまでは隔年開催)。現在、連盟の機構が大きく変わろうとしている中で、「全国小羊会キャンプ・リーダー研修会」への助成金がどのようになるのか分からない中であったこと、加えて、女性連合の財政課題が大きく横たわっていますが、現実行委員会では「全国小羊会キャンプ」を何とか続けていきたいとの思いから協議してきました。

議案説明会でご質問もありましたが、今後の全国小羊会キャンプの開催頻度や形態については、「これからの女性連合検討チーム」でも協議を重ね、これからの形態等の「案」を提案させていただきたいと思っています。どのような形になったとしても、大切な祈りの課題として持ち続けていきたいと願います。

※「国外協力積立金」について

「私たちの世界宣教」として、誰もが参加できるツアー、それぞれが身近に感じることが出来る「世界宣教」の活動ができれば良いと願います。私たちが「世界」と言うとき、それは日本も含めた世界です。年代を問わず、女性連合が支援を続けている現地の方がたと直接出会うプログラムをつくり、顔の見える支援へとなっていくことを目指していきたい。そのための参加者へのサポート、また、その出会いから短期でのボランティアとして献身の思いが与えられた方へのサポートも実現できていけたらと願います。

これから私たちは、日本を含む世界とどのように繋がりをいただいていくのか、私たち一人ひとりが自分の事柄として、「世界」から多くのことを学ぶ者として立っていきたくと願います。

「育成費」や「国外協力積立金」を用いるサポートについての詳細は、大会、研修など開催される前に、全国発送、『世の光』、女性連合ホームページ (www.jbwu.org) などのご案内しています。全国発送された書類や申込用紙などは、女性連合ホームページに同じものを掲載しております。是非、ご覧いただければと思います。

※世界バプテスト祈禱週間はじめ、女性連合活動等について

「これからの女性連合検討チーム」では、世界バプテスト祈禱週間を含め、女性連合の理念、活動、規約について新たに検討し、たたき台を作り、まず 2023 年度秋に行われる福岡大会にて「案（方向性）」をお伝えして、ご意見や質問など協議の時間を持っていきたくと考えております。女性連合の財政の課題が大きなこととありますが、その中で最善の道が備えられていきますよう、一緒に考えていきたくと願っています。どうぞ、「これからの女性連合検討チーム」の働きのためお祈りください。

また第 3 号議案「2022 年度補正予算」に関する件、「役員会費」に対して「160%↑は考えられない」とのコメントもありましたが、こちらは 2021 年度「一般会計収支報告」です。補正予算に対して 160%アップとなったのは、毎月 2 回程のオンライン役員会や機構改革に伴う会議等が予想以上に増えたためと考えています(議案説明会記録 P10~11 参照)。

※プリキンダーガルテンスクールへの古着支援について

現在女性連合としては募集をしておりませんが「プリキンダーガルテンスクール里親の会」の代表の方にお聞きしました。古着支援は、30 年以上続けられていますが、現在も古着だけでなく文房具なども常時必要とされており、送られた品々をプリキンダーガルテンスクールのモハンティ先生が、リストアップし、すべて必要とされているところへ届けられているとのことです。船便で 1~2 ヶ月かかりますが、送料などご負担いただき、直接お送りいただければと思います。よろしく願いいたします。送り先は、次の通りです。

To: Dr. Mohanty Surendra

CHRISTIAN ORGANISATION FOR DEVELOPMENT AND EDUCATION

Naomi Building, Station Road, Puri-752002, Odisha, India

おわりに

あらためて、書面総会の決議書にいただきましたご質問やコメントを本当にありがとうございました。以上を応答とさせていただきたいと思えます。さらにご質問やご意見、コメントなどありましたら、いつでもお寄せいただければと思います(女性連合ホームページの「お問い合わせ」などからお寄せください)。各女性会やグループでも共有いただき、お祈りいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。皆さまの上に神さまの導きと祝福が豊かにありますよう、心よりお祈りいたします。

2023 年 1 月 17 日

女性連合役員会・幹事 一同